

私はこの研修で数えきれないほどいろいろなことを学びましたが、その中でも印象に残った事を三つあげたいと思います。

一つ目は多くの社会問題について学んだ事です。なかでも、過労死問題についての講義は私の心に残りました。日本では年間何人もの人が過労死で亡くなっています。働きすぎで人が死ぬということ自体、世界から見たら異常であり、他の国では前例がほぼないので、今や過労死(Karoshi)という言葉は英語としても使われています。日本に住んでいるとニュースなどで目にする機会が多々ありますが、「何故このようなことが起きているのだろう。」「被害者の責任は誰にあるのだろう。」などと、考えた事はありませんでした。自分の国で起きている事なのに、自分が何も知らなかった事が恥ずかしかったです。日本の当たり前は、海外では異常かもしれないという事に気づけてよかったです。この研修を通して、日本そして世界のことをもっと知りたいと思うようになりました。

二つ目は自分の意見を持ちながらも物事を多面的に見る、また考えられる人になるという事の大切さです。これは、私が今回の研修で目標にしていた事でもあります。この研修では、議題に対して必ず自分の意見を求められました。同じ議題でも、考え方は人それぞれで答えも人それぞれでした。自分にはなかった発想や意見を聞くことは楽しくもあつたし、自分の視野を広げる良い経験になりました。日本はどちらかというと多数派の意見に合わせる人間が多いように感じます。そして、少数派の意見を理解しようとするどころか、偏見を持って見てしまう人が多いようにも感じます。この研修を通して、それではいけないのだと改めて痛感しました。人の意見はどれも価値があつて、間違いではありません。大事なのは自分の意見を持つと同時に、広い視野で他者の意見を理解しようとする姿勢です。自分が幅広い視野で物事を見ることができているかは分かりませんが、そうできるように努力していこうと強く思いました。

三つ目は伝える事の重要性です。日本は「察する」という事を大切にする文化なので自分で発信しなくても相手が分かってくれようとしています。それは日本のいいところだと思いますが、私は相手が分かってくれるのをただ待っているだけではダメだと思います。この研修では、英語という母国語ではない言葉で話さなければなりませんでしたが、どのメンバーも自分の意見を伝える事に積極的でそして一生懸命でした。その姿に刺激されたし、見習おうと思いました。どんなに素晴らしい考えを持っていても、伝えようと努力しなければ相手は理解してくれないと思います。私はちゃんと人に意見を伝えられる人になりたいです。

10日間という限られた時間の中で得られた知識はもちろん、一緒に過ごした仲間と築くことができた絆は私の宝物です。この素敵な経験を生かして、グローバルリーダーに近づけるようにこれからも努力していきたいです。

